

◆今期間のポイント

<主要じょう乱の概要>

- 27日は、低気圧がオホーツク海から千島近海へ進み、高気圧が日本の南に移動する。東シナ海に前線がのびる。
- 28日は、日本海を低気圧が進む。また、前線を伴った低気圧が本州南岸を進み、29日には日本の東を発達しながら北東に進む。
- 30日から5月1日は、東シナ海の高気圧が日本の南へ移動し、北海道付近に気圧の谷が進む。

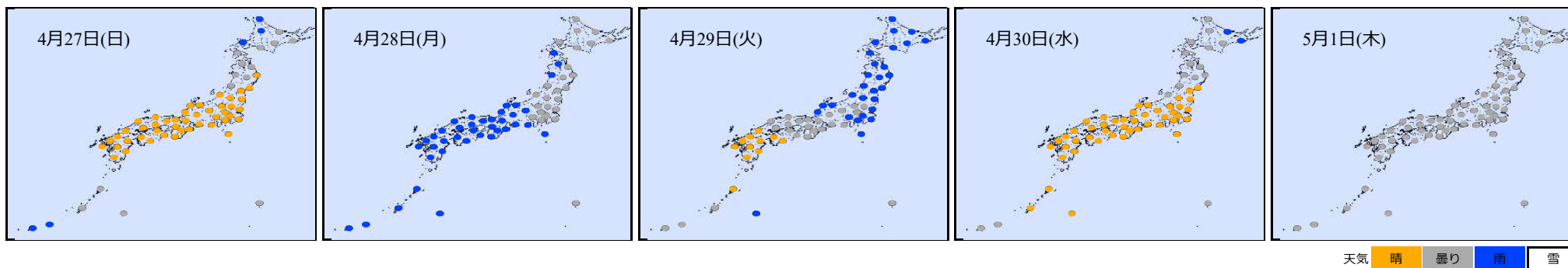
<防災事項> 11時、17時発表の早期注意情報に合わせて当項目は修正する場合があります。

- 28日から29日にかけて、前線を伴った低気圧が発達しながら本州南岸から日本の東を進む。このため、北日本や東日本では荒れた天気となる所がある。

※最新の早期注意情報、気象情報、台風予報も参照ください。

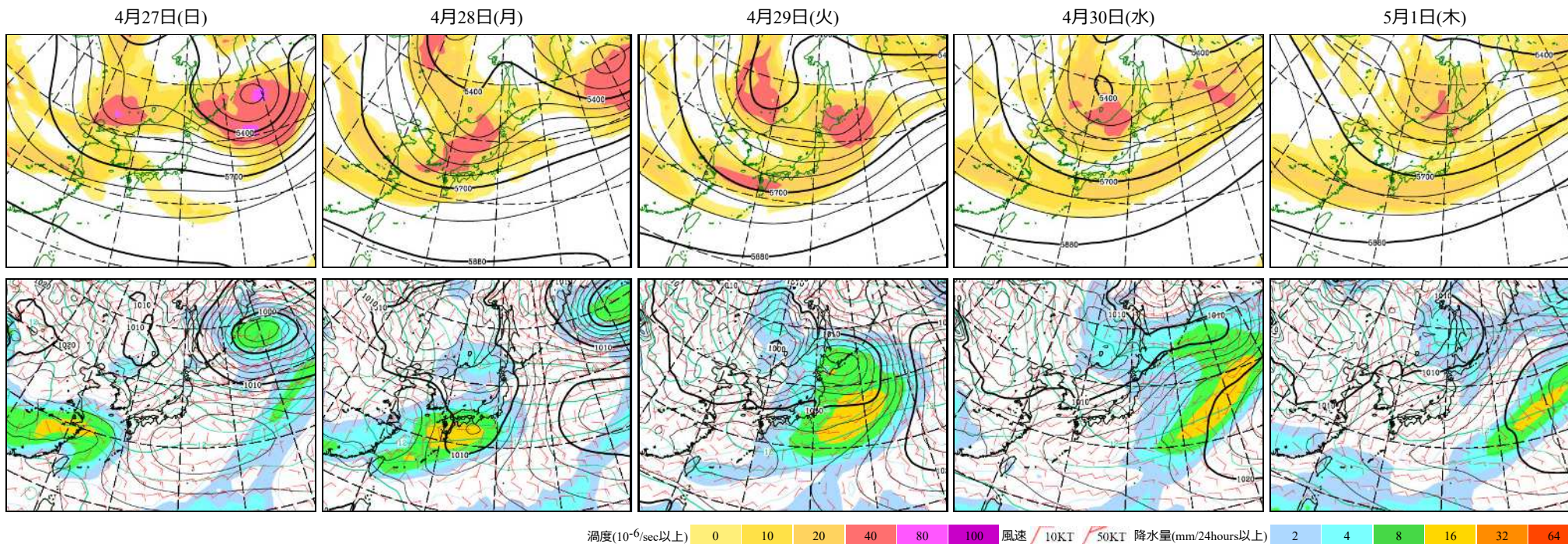
以下の資料は、気象事業者等が、気象庁の提供する週間天気予報の根拠を理解するための補助資料であり、そのままの形式で一般に提供することを想定して作成したものではありません。

◆10時時点の3～7日目の天気予報案 (11時以降は気象庁HP等にて発表予報をご利用ください。)

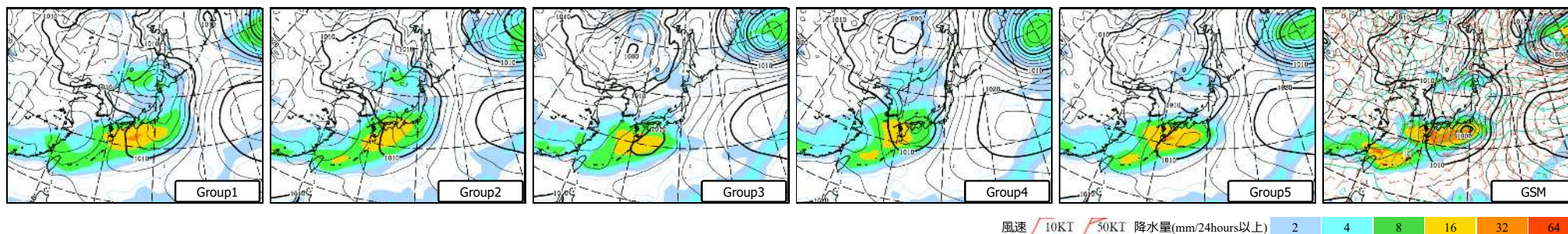


- 北日本は、晴れる所もあるが雲が広がりやすく、雨または雪の降る所がある。
- 東日本と西日本は、短い周期で天気が変わる。晴れまたは曇りとなるが28日から29日にかけて雨の降る所がある。
- 沖縄・奄美は、晴れる所もあるが雲が広がりやすく、27日から29日は雨の降る所がある。

◆アンサンブル(ENS)平均予想図 上図：500hPa高度線、渦度 下図：海面気圧、地上風、前24時間降水量(21時)



◆4月28日のENSクラスター平均(グループ1~5)とGSMの地上予想図 海面気圧、地上風(GSMのみ)、前24時間降水量(21時)



◆昨日資料からの変化と予想のばらつき

- 最新のアンサンブル資料(ENS)は、28日から29日にかけて日本付近を通過するトラフの進みが早くなった。地上の気圧配置の予想も、同様に28日から29日にかけて日本付近を通過する気圧の谷の東進が早くなった。
- 28日から29日にかけて日本付近を進むトラフの予想は、各モデルともに初期値変わりが見られる。ECMは日本モデルの予想に近づいたが、NCEPは他のモデルとの差が大きくなった。
- 28日の本州南岸の低気圧について、ENSは北緯30度以北を進むメンバーが多いが、北緯30度より南を進むと予想するメンバーもある。また、日本の東の高気圧が強く、東シナ海に低気圧を予想しているメンバーも含んでいる。

◆ENSからの修正点とサブシナリオ等の補足事項

- 予報は、おおむね最新のENSを基に考える。
- 28日頃に本州南岸を進む低気圧の予想については、初期値変わりやモデル間の差があり不確実性が高い。低気圧の予想が変わった場合は、予報が大きく変わる可能性がある点に留意。